

遠賀堀川は江戸時代に初代藩主黒田長政により開削工事がはじまり、紆余曲折183年を経て完成しました。周辺の田畑を潤し、明治から昭和初期には多くの川ひらたが行き来し、きれいな川のおよび貝や魚が捕れ生活の一部にもなっていました。大きな役割を果たした堀川の歴史と価値をもう一度みつめなおし、未来につなげていきたいと願います。

講演者・パネリスト紹介

ばばしゅんすけ
馬場俊介

◆岡山大学名誉教授

土木工学を専門とし近世以前、近代の土木遺産の調査、研究成果を国内外に発信している。土木史では初めての「土木学会論文賞」平成23年度には「岡山県教育関係功労賞」受賞。近著に『近世以前の土木・産業遺産』など。

うめだかつとし
梅田勝利

◆九州共立大学経済学部教授・地域連携推進センター副所長

現在、経営関連学会協議会監事、日本企業経営学会常任理事、国際公会計学会監事などを務める。堀川まちおこし実行委員会（北九州市、中間市、水巻町）委員として、ゼミや学友会ちよボラ部の学生と共に、会計学と観光学の視点から、地域活性化に取り組んでいる。

こみなみひろかず
小南裕一

◆北九州市文化企画課学芸員・博士（史学）

北九州市内における文化財の調査・保護業務を担当。専門は考古学で主要研究テーマは西日本弥生文化成立過程の研究。主な著作「縄文後・晩期土器と板付Ⅰ式土器」『弥生時代の考古学② 弥生文化誕生』同成社（2009）

よしだひろゆき
吉田浩之

◆中間市教育委員会生涯学習課社会教育係

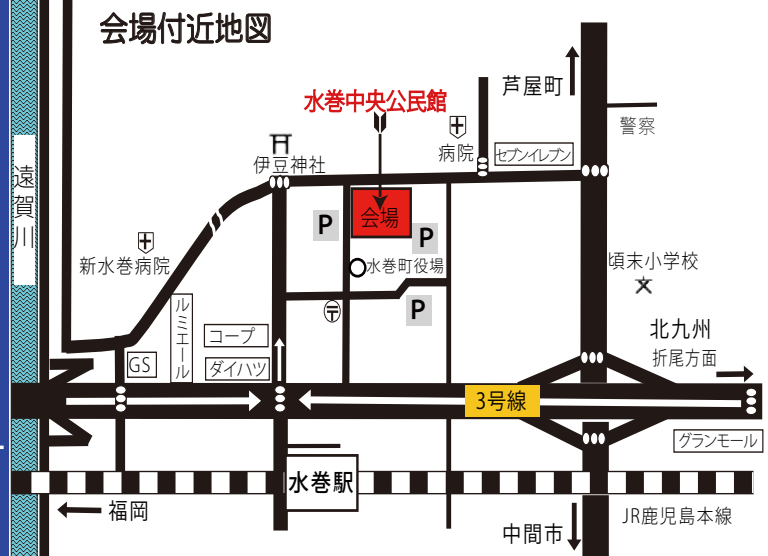
中間市内における文化財の調査・保護業務、資料館運営業務、社会教育全般の業務を担当。2012年「中間唐戸築造250年記念九州堀川サミット」を中間市で開催し、同年日南市で開催された全国運河サミットで遠賀堀川について発表。また世界遺産「遠賀川水源地ポンプ室」の調査および世界遺産登録に携わる。

おおつぼつよし
大坪剛

◆水巻町教育委員会図書館・歴史資料館学芸員

水巻町内における文化財の調査・保護業務を担当。歴史資料館では水巻町とその周辺の歴史や文化財などをテーマに企画展示を開催、地域の魅力発信に取り組む。『増補水巻町誌』や『堀川文化財総合調査報告書』執筆編集に携わる。

会場付近地図



【会場案内】 水巻町中央公民館

〒807-0022

福岡県遠賀郡水巻町頃末北1丁目1番2号

【交通案内】

・JR水巻駅から徒歩5分

・車 / 北九州市都市高速道路黒崎ICから20分
九州縦貫自動車道鞍手ICから15分

申込・問合せ 水巻町歴史資料館

電話 093-201-0999 FAX 093-201-0995

開館時間 10:00 ~ 18:00

休館日 月曜（祝日の場合翌日）年末年始 1/31